

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年8月4日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社

上場取引所

東

コード番号 3435

URL <http://www.sanko-techno.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 洞下 英人

問合せ先責任者(役職名) 管理本部長

(氏名) 安田 伸一

(TEL) 04-7178-6530

四半期報告書提出予定日 2023年8月7日

配当支払開始予定日

-

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,842	12.4	394	11.5	376	12.7	542	118.5
2023年3月期第1四半期	4,307	4.6	353	12.3	334	4.0	248	11.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 591百万円(67.5%) 2023年3月期第1四半期 352百万円(30.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	68.81	68.10
2023年3月期第1四半期	31.55	31.22

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	23,596	16,225	67.5
2023年3月期	20,908	15,870	74.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 15,920百万円 2023年3月期 15,557百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	0.00	-	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の期末配当金33円は、創立60周年記念配当金1円を含んでおります。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,600	2.9	850	0.2	840	2.2	884	48.4	112.13
通期	21,000	1.9	1,950	△1.4	1,950	0.1	1,659	18.8	210.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 新光ナイロン株式会社、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	8,745,408株	2023年3月期	8,745,408株
2024年3月期1Q	839,843株	2023年3月期	862,043株
2024年3月期1Q	7,890,765株	2023年3月期1Q	7,874,865株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和されたこともあり、社会経済活動の正常化が進み、景気持ち直しの動きが見られた一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴うエネルギー価格の高騰や、急激な円安の進行による物価高騰が景気を下振れさせる懸念もあり、依然として、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設市場におきましては、長期にわたる建設技能労働者の不足や設備投資抑制の影響に加え、鋼材価格が高止まりするなど厳しい状況で推移する一方、インフラ整備を中心とした一定水準の需要に支えられ、底堅く推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、2022年3月期よりスタートした中期経営計画の最終目標・売上高200億円超を1年前倒しで達成いたしました。中期経営計画の最終年度である2024年3月期は、「S.T.G Vision2023」“私たちは、独自の技術とサービスに磨きをかけ、安全・安心の価値を追究して、社会に役立つ集団となります”の達成にいっそう磨きをかけることを目標とし、「人財育成」、「全体最適化」、「新事業創出」をはじめとした経営課題へ引き続き取り組むことにより、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,842百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益394百万円（同11.5%増）、経常利益376百万円（同12.7%増）となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、負ののれん発生益の計上により542百万円（同118.5%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ①ファスニング事業

当社の主力製品である、あと施工アンカーの販売が前年を上回る水準で推移したほか、完成工事高が好調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は3,684百万円（前年同期比11.1%増）、セグメント利益は448百万円（同3.7%増）となりました。

#### ②機能材事業

電動油圧工具関連の販売は、国内・海外ともに堅調に推移いたしました。また、FRPシート関連、アルコール検知器関連の販売は前年を下回った一方、電子基板関連、包装・物流機器関連の販売は前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は1,158百万円（同16.9%増）、セグメント利益は160百万円（同19.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は13,911百万円となり、前連結会計年度末に比べ816百万円（6.2%）増加いたしました。増加の主な要因は、現金及び預金、棚卸資産が増加したことによるものであります。固定資産は9,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,871百万円（23.9%）増加いたしました。これは主に建物及び構築物、土地、投資その他の資産が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は23,596百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,687百万円（12.9%）増加いたしました。

流動負債は3,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ315百万円（10.3%）増加いたしました。増加の主な要因は支払手形及び買掛金、1年内償還予定の社債、1年以内返済予定の長期借入金、賞与引当金が増加した一方、未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は3,988百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,018百万円（102.4%）増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,371百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,333百万円（46.3%）増加いたしました。

純資産合計は16,225百万円となり、前連結会計年度末に比べ、354百万円（2.2%）増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日公表の業績予想から修正しております。詳細につきましては2023年8月4日公表の「特別利益（負ののれん発生益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,358,051	2,689,730
受取手形、売掛金及び契約資産	4,628,469	4,532,560
棚卸資産	5,921,179	6,511,371
その他	190,714	180,963
貸倒引当金	△3,582	△2,936
流動資産合計	13,094,831	13,911,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,198,822	2,299,769
土地	3,825,652	4,099,169
その他(純額)	488,478	507,197
有形固定資産合計	6,512,954	6,906,136
無形固定資産	198,667	186,799
投資その他の資産	1,102,285	2,592,065
固定資産合計	7,813,907	9,685,001
資産合計	20,908,738	23,596,691
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,406,219	1,664,124
短期借入金	280,000	310,000
1年内償還予定の社債	—	110,000
1年内返済予定の長期借入金	201,067	405,631
未払法人税等	382,224	131,394
賞与引当金	139,928	270,296
その他	658,061	491,458
流動負債合計	3,067,501	3,382,905
固定負債		
社債	—	35,000
長期借入金	581,344	2,255,242
役員退職慰労引当金	17,446	50,682
退職給付に係る負債	1,154,349	1,203,425
その他	217,446	444,393
固定負債合計	1,970,586	3,988,743
負債合計	5,038,087	7,371,649
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	590,491	592,749
利益剰余金	14,298,707	14,605,166
自己株式	△511,524	△498,351
株主資本合計	15,146,264	15,468,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,328	24,969
為替換算調整勘定	391,053	427,646
その他の包括利益累計額合計	411,382	452,615
新株予約権	57,538	42,129
非支配株主持分	255,465	262,142
純資産合計	15,870,650	16,225,042
負債純資産合計	20,908,738	23,596,691

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,307,012	4,842,995
売上原価	2,963,171	3,340,714
売上総利益	1,343,841	1,502,281
販売費及び一般管理費	990,398	1,108,042
営業利益	353,442	394,238
営業外収益		
受取利息	587	819
受取配当金	2,307	1,946
仕入割引	6,551	6,058
持分法による投資利益	62	—
作業くず売却益	4,261	3,765
その他	8,300	5,169
営業外収益合計	22,071	17,759
営業外費用		
支払利息	1,035	2,013
売上割引	26,010	24,587
持分法による投資損失	—	644
為替差損	10,745	5,339
その他	3,375	2,476
営業外費用合計	41,167	35,060
経常利益	334,346	376,937
固定資産売却益	—	47
投資有価証券売却益	—	511
負ののれん発生益	—	299,109
特別利益合計	—	299,667
特別損失		
固定資産除却損	668	18
特別損失合計	668	18
税金等調整前四半期純利益	333,678	676,586
法人税等	84,743	132,784
四半期純利益	248,935	543,802
非支配株主に帰属する四半期純利益	457	842
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,477	542,960

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	248,935	543,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,210	4,645
為替換算調整勘定	115,118	42,571
その他の包括利益合計	103,908	47,217
四半期包括利益	352,843	591,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,005	584,193
非支配株主に係る四半期包括利益	16,837	6,826



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、新光ナイロン株式会社及び株式会社光洋を株式の取得により子会社化し、連結の範囲に含めております。なお、新光ナイロン株式会社は、当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
一時点で移転される財及びサービス	2,828,242	991,011	3,819,253	—	3,819,253
一定の期間に渡り移転される財及びサービス	487,758	—	487,758	—	487,758
顧客との契約から生じる収益	3,316,001	991,011	4,307,012	—	4,307,012
外部顧客への売上高	3,316,001	991,011	4,307,012	—	4,307,012
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,897	78,625	106,523	△106,523	—
計	3,343,899	1,069,637	4,413,536	△106,523	4,307,012
セグメント利益	432,520	133,888	566,408	△212,965	353,442

(注) 1. セグメント利益の調整額△212,965千円には、セグメント間取引消去3,335千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△216,301千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
一時点で移転される財及び サービス	2,894,623	1,158,912	4,053,535	—	4,053,535
一定の期間に渡り移転され る財及びサービス	789,459	—	789,459	—	789,459
顧客との契約から生じる 収益	3,684,083	1,158,912	4,842,995	—	4,842,995
外部顧客への売上高	3,684,083	1,158,912	4,842,995	—	4,842,995
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,898	110,651	129,550	△129,550	—
計	3,702,982	1,269,563	4,972,546	△129,550	4,842,995
セグメント利益	448,666	160,322	608,989	△214,750	394,238

(注) 1. セグメント利益の調整額△214,750千円には、セグメント間取引消去19,805千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△234,555千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ファスニング事業」セグメントにおいて、2023年6月30日をみなし取得日として新光ナイロン株式会社の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、負ののれんの発生益を209,783千円計上しております。

「機能材事業」セグメントにおいて、2023年6月30日をみなし取得日として株式会社光洋の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、負ののれんの発生益を89,325千円計上しております。

なお、負ののれん発生益の金額は当第1四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、負ののれん発生益は特別利益のため上記セグメント利益には含まれておりません。